

E. coli由来のクレアチニナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1242

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

Pseudomonas sp. 由来のクレアチニナーゼは、サブユニットあたり28.4 kDaの分子量を持つホモヘキサマー酵素です。これは、クレアチニンをクレアチンに可逆的に置換するサイクリックアミドヒドロラーゼです。各モノマーは、 β ストランドのC末端近くと主な α ヘリックスのN末端に二核亜鉛中心を含んでいます。これらの亜鉛イオンは、活性部位の位置を示しています。

別名

EC 3.5.2.10、クレアチニンヒドロラーゼ；クレアチニナーゼ；9025-13-2

製品情報

種 E. coli

由来 大腸菌

外観 白色凍結乾燥物

EC番号 EC 3.5.2.10

CAS登録番号 9025-13-2

分子量 ca. 170 kDa

活性 > 500 U/mg 凍結乾燥物

混入物 カタラーゼ < 1.0%

等電点 4.8

pH安定性 7.0-11.0

最適pH 6.5-7.0

熱安定性 60°C未満

最適温度 60-65°C

ミカエリス定数 3.4 × 10^-2 M (クレアチニン) 4.3 × 10^-2 M (クレアチン)

構造 28 kDaの6つのサブユニット (SDS-PAGE)

活性化因子 Mg²⁺, Mn²⁺

阻害剤 Hg²⁺

単位定義 1単位 (U) は、37°CおよびpH 6.8で1μmolのクレアチニンを1分間に生成する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで